

道徳授業地区公開講座

2年 2組

* 本日の授業の流れ *

主題名	友だち (資料名：およげない りすさん[日本文教出版「しょうがくどうとく いきるちから」より]) A—(1) 友情・信頼
ねらい	友達の気持ちや状況を考え、工夫して仲良く助け合おうとする心情を育てる。

	○学習活動、 <u>主な発問</u>	◇指導上の留意点
導入	○「友達と遊んで楽しかったことはありますか。」について考える。 今日は「友だち」について考えよう。	◇自分たちが学校でどのようなことをしているかを想起し、友達との関わりに意識を向けさせる。
展開	○教材「およげない りすさん」を読んで、話し合う。 りすさんと一緒に島に向かっていているみんなは、どんなことを思っているのか、考えましょう。 友達とみんなと一緒に遊んでよかったなと思ったことは、どんなことかを考えましょう。	◇仲間はずれにしたかめたち、仲間はずれにされたりすの行動と気持ちをおさえた上で、考えさせる。 ◇それぞれの立場の気持ちに目を向けさせるとともに、なぜその気持ちになったのかをロールプレイを通して考えさせ、道徳ノートに書かせる。 ◇みんなが楽しめるように工夫したときの気持ちを考えさせることで、単に気持ちがよいだけでなく、みんなが楽しく生活できるようになることにも気付かせ、道徳ノートに書かせる。
	○自分の生活を見つめる。	◎友達と仲良く助け合うなど工夫すれば、多くの人がいろいろな楽しさを味わうことができるということに気付かせる。
終末	○教師の話を書く。	◇学級内でのよい関わりを認め称賛することで、より自分ごととして捉えて、工夫して遊ぼうとする意欲を高める。

* 道徳授業のことをご家庭で *

2-2のみなさんは、仲良く遊ぶ工夫を話し合っ、実行することがとてもよくできています。学校での遊びや話し合いの経験を聞きながら、ご自身の経験も、そのときの気持ちと合わせてお子さんと話してみてください。